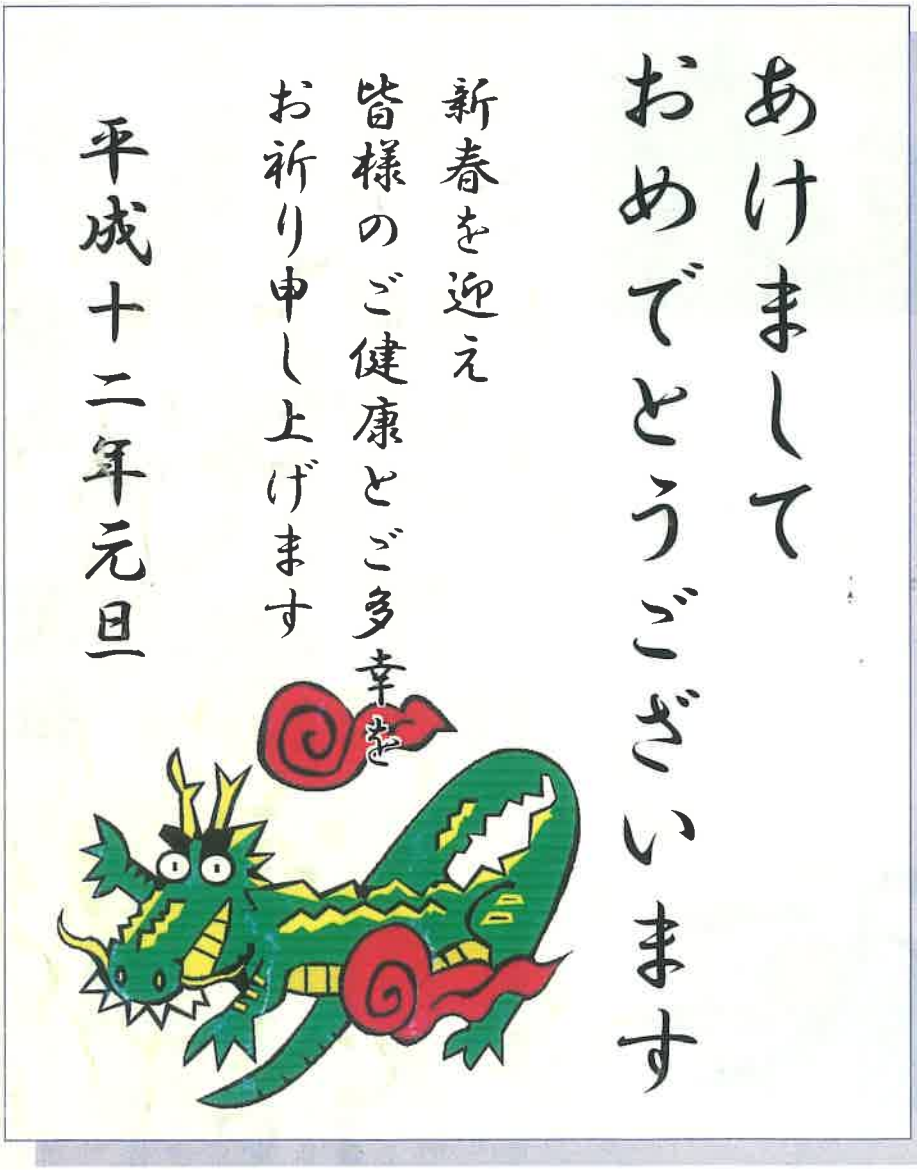
平成12年1月1日　第1275号　発行：湯沢町役場総務課

広報 ゆざわ

わたしたちのねがい

湯沢町町民憲章

美しい自然につつまれた雪のまち湯沢
清らかな愛情あふれるまち
すこやかな活力みなぎるまち
さわやかな誰もが訪れたいまち
みんなで力をあわせ
豊かで明るく住みよい
文化の香り高いまちをつくりましょう



初夢合わせなどといって、初夢で一年の吉兆を占う風習は、古くからあったようです。江戸では、いい初夢を見るようにと宝船の絵が売られていたそうです。獏枕（ばくまくら）といって夢を食うとされる動物＝バクの絵を枕の下に置いて悪夢を食わせる風習もありました。

初夢は正月に初めて見る夢ということは、誰でも知っていますが、元旦の朝見る夢が初夢でしょうか、それとも二日の朝でしょうか。実は、時代により、地域により、また家によっても違うようです。室町時代には元旦の暁の夢だったとか、江戸時代には二日の朝の夢だったともいわれています。また、古くは立春の朝の夢を初夢としたようです。

さて、20世紀最後の年のあなたの初夢は？…元旦も二日も夢を見た人は、自分にとって都合のいい方を初夢にして、良い一年を送りましょう。



新年のごあいさつ

湯沢町長　村山　隆征



明けましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は期待されていた経済の回復がままならず、景気の低迷が続きました。湯沢町にとっても厳しい年でありましたが、町民の皆様から町政全般にわたり格別のご支援とご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今世紀も残すところ一年となりました。21世紀という新しい時代に向け、国では地方分権一括法が成立しました。機関委任事務の廃止と国の地方自治体への関与のあり方の見直しを柱として、地方自治法をはじめとする多くの法律の改正が行われ、4月から施行されます。また、これと合わせて、行政改革が進められており、省庁の再編が行われようとしております。地方分権の推進に伴い、地方公共団体は、これまでの事業官庁としての自治体から政策自治体へと脱皮し、自己責任のもとに創意と工夫で行政運営を進めていくことが求められております。湯沢町もこうした地方分権の流れに対応すべく、組織機構の改革等を行い、効率的な行政体制を構築いたします。4月実施に向け、現在、準備を進めているところであります。

さて、急速な高齢化とともに介護の問題が老後の最大の不安要因となっておりますが、社会全体で介護を支えあおうという「公的介護保険」がいよいよ4月から施行されます。介護が必要になっても、残された能力を活かして、できる限り自立し、尊厳を持って生活できるようにすることは、私たちの共通の願いですが、現実には家族だけで介護を行うことは非常に困難であります。町では、昨年10月から要介護認定、要支援認定申請の受付を開始いたしましたが、新しい社会保険制度である介護保険事業が円滑に運営されるよう取り組んでまいる所存であります。



町政の最重要課題として取り組んでいる医療保健センター建設事業につきましては、保健、医療、福祉の核として一元化を図り、機能を充実して、町民の生命と健康を守る拠点としたいと考えております。町が施設を整備して管理運営を社団法人地域医療振興協会に委託する「公設民営方式」とし、町と振興協会が相互の信頼のもとに良好な関係を保っていくことで、立派に運営できるものと確信しており、町民の皆様のご理解とご協力をお願いするものであります。

湯沢町の長年の懸案事項である清津川ダム問題につきましては、県に早期解決への支援を要請しており、建設省には、実施計画調査の促進のため予算の増額を要望しているところであります。なお、地元ダム対策協議会では、生活再建構想の図化作業に取り組んでおります。地元の皆さんの理解を得ながら、より一層の努力をしてまいりたいと考えております。

最後に西暦2000年という節目の年が、湯沢町と皆様にとって希望に満ちた輝かしい年となりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭のごあいさつ

湯沢町議会議長　山本　邦悦



新年おめでとうございます。

年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

いよいよ西暦２０００年の幕開けとなり、町民の皆様も、感慨無量のことと存じます。

昨年の11月、湯沢中学校統合40周年記念式典が盛大に行われましたが、五校の生徒が一校に集い、ともに学び、ともに鍛えあった人たちが今、50歳代の働き盛りとなりました。

景気の停滞により町の基幹産業である観光事業が伸び悩むという厳しい状況下で、こうした人たちが、湯沢町の政治、経済、観光等の中心的な役割を担いながら、町発展の原動力となって活動していることは、誠に喜ばしいことでございます。

また、昨年10月には、町民有志で発足した「湯沢みどりの会」による植樹祭が行われ、大源太林道沿いにぶなの木が植えられました。植樹に参加してくれた小・中・高校生たちがぶなの木の生育とともに湯沢町の将来にも関心を持っていただけるものと思っております。こうした新しい活動が始まったことに対し、心から感謝の意を表すとともにその継続を願ってやみません。

さて、２０００年という節目を迎えた今、国中が不況にあえぎ、リストラ等により雇用も期待できず、若中年層の人たちにとって大変な状況となっております。少子・高齢化、高度情報化、経済構造の変化及び住民ニーズの多様化等により、社会全般にわたる構造改革が迫られているなかで、住民に最も身近な行政の主体である地方公共団体の果たすべき役割と責任は、ますます増大しております。地域に密着した行政は、地方公共団体の自主的な判断と責任において決定し、実行しながら、新しい時代にふさわしい地方自治体制を確立しなければなりません。議会といたしましても地域住民の代表として、その役割と責任の重大さを深く自覚し、清新で活発な活動を通じて行財政改革と町議会の活性化に全力で取り組むことを誓うものであります。

清津川ダム問題をはじめ、病院建設の促進、中学校校舎の改築、さらには文化の香り高いまちづくりなど課題は山積しております。住民要望を採り上げ、公正で明るい、住んでいて良かったと心からいえるまちづくりのために議員一同一丸となって頑張る覚悟でありますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

末筆ながら、皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

町民新春年賀交歓会 が開催されます

ともに新年をお祝いしましょう。お気軽にお出かけください。

【日時】　平成12年1月19日（水）午後6時～（午後5時30分より受付）
【会場】　湯沢カルチャーセンター　アリーナ　（立食パーティ形式）
【会費】　お一人様3，000円（当日ご持参ください。）
【申込】　（財）湯沢町都市施設公社　℡84－1511
【締切】　平成12年1月11日（火）
【主催】　湯沢町商工会・湯沢町観光協会・（財）湯沢町都市施設公社



ギネスに登録、湯沢町から世界一!!

イギリスのギネス社が毎年刊行する珍しい世界記録を集めた本「Guinness Book of Records」。そのギネスレコードに世界一長いスノーチュービングコースとして、湯沢パークリゾートが登録されました。スノーチュービングとは、タイヤのチューブ状の乗り物で雪上を滑り降りるもので、湯沢パークのチュービングコースの全長は968メートルもあります。湯沢の2000年が、こんな明るい話題の多い年であればいいですね。





今年は辰年

十二支中唯一の空想の動物

十二支の五番目の干支である辰（たつ）は、十二支中ただ一つの空想上の動物です。一般には「竜」と書き、「タツ」または「リュウ」と呼ばれています。

竜の伝説は世界各地に分布しており、さまざまな形で伝えられています。

その姿は概ねヘビやトカゲのような体に、角を持った猛禽類か猛獣の頭、それに翼を組み合わせた形で描かれています。また、竜の性格や役割も悪役になったり、神聖な動物として扱われたりと、地域によってさまざまです。

世界各地に伝わる神話の中の竜

英語やフランス語では、ドラゴン（dragon）と呼ばれる竜。ヨーロッパの神話では、暗黒の化身のように扱われ、英雄や神々に征伐される話が残っています。

インドでは、竜はヘビを神格化した半蛇半神として扱われています。雲を呼び、雨を降らせる力があるとされ、雨によって五穀豊穣をもたらすと信仰されています。

中国では竜は麒麟、鳳凰、亀とともに四霊と呼ばれています。竜は淵に住む神秘的な動物で、水や雨に関係するとされています。また、竜は天子のシンボルとされ、天子の顔を竜顔などと表現していました。

水や雨をつかさどる竜神・水神のシンボル

日本では竜は神聖視されており、古代神話にも竜が登場しています。

『古事記』と『日本書紀』には、トヨタマヒメの産屋での変身をヒコホホデミノミコトが見るくだりがありますが、古事記では、八尋のワニになったとあり、日本書紀には「竜となりぬ」と記されています。

また、竜は雲を呼び、雨を降らせる神として古くから信仰されており、日本各地に竜神・水神として残っています。

困難を乗り越えて躍進する年へ

「竜」のつく言葉では、「竜頭蛇尾」「画竜点睛」「登竜門」など、中国の故事に由来する言葉がよく知られます。

「登竜門」は、黄河上流の急流の峡谷、竜門をのぼりきった魚が竜に変わったという伝説から、成功への一歩となる難関という意味があります。

辰年にあやかって、今年は難関を突破し、飛躍の年にしたいものです。

